



第2回
国際フォーラム

メディアが報じない 中国人権弾圧

2月23日（月・祝）、第2回国際フォーラムを開催いたします。今回は「チャイナ・エイド」創設者のボブ・フー氏をお招きし、中国人権弾圧の実態や迫害を受けている人々への救済活動等についてお話いただき、パネルディスカッションを進めてまいります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2/23 月 13:00
祝 - 16:00

(開場12:00)

日比谷図書文化館
日比谷コンベンションホール (B1F)



チャイナ・エイドとは？

2002年設立。中国共産党の人権侵害を明らかにし、信教の自由と法の支配の促進に尽力する国際的な非営利キリスト教人権団体。迫害を受けている指導者とその家族の救出と再定住を支援し、迫害や不正の具体的な事例を報告し、虐待の実態を暴いている。

SPECIAL GUEST



チャイナ・エイド創設者
ボブ・フー氏



2023.4月、米議会公聴会にて、人権弁護士・高智晟氏の捜索を訴え、中国共産党の人権迫害に焦点を当てる。



2023.7月、米議会で行われた宗教円卓会議にて、中国から信徒60人余りと脱出した牧師と共に証言、中国政府が「信仰に対する戦争を開始した」と警告する。



2024.1月、全米朝餐祈祷会に参加する賴清徳台湾総統と会談する。



2025.11月、米議会上院で開催された公聴会において、苛烈な宗教弾圧に苦しむ信徒・信仰集団に言及し、グローバル・マグニツキー法に基づく政策を発動する必要性を訴える。



2025.2月、米議会国際宗教自由委員会で、中国共産党が信教の自由を理由に容赦ない迫害を行っている指摘。信教の自由と人間の尊厳を擁護するために国際的圧力をかけるよう強く求める。

共催：幸福実現党 / 民主中国陣線

(佐々木：080-3026-1940)

(王 戴：090-8340-2388)

主なプログラム

《第一部 ゲストスピーチ》

- ・ボブ・フー氏(チャイナ・エイド創設者)

《第二部 パネルディスカッション》

- ・パネリスト : ボブ・フー氏
王戴氏(民主中国陣線副主席)
里村英一(政務調査会長)
- ・モデレーター : 畠山元太郎(広報本部長補佐)

参加費
1,500円

【申し込み方法】
QRコードから
お申込みください



ご不明点等は
下記お問合せまで



ボブ・フー

チャイナ・エイド創設者兼会長。中国人民大学卒業後、中国共産党北京市委員会党学校で教鞭をとる。北京の家庭教会指導者だったが、違法布教の罪で投獄される。釈放後は米国に亡命、チャイナ・エイドを設立し、米国議会や国連など海外の行政・立法機関などに対して証言や講演を行う。国際政治経済誌「FOREIGN AFFAIRS」を発行する米外交問題評議会(CFR)終身会員、米福音派シンクタンク「FAMILY RESEARCH COUNCIL」シニアフェロー、ヘリテージ財団国家安全保障・外交政策に関するタスクフォースおよびアジア政策メンバーの他、雑誌「CHINA LAW AND RELIGION WATCH」編集長などを務める。著書に『神の二重スパイ』『包括的多元主義の政治』など。



王戴(おうたい)

「民主中国陣線」副主席。1989年天安門事件で学生運動に身を投じる。同年7月に日本に渡り、中国共産党一党独裁に反対する中国民主化組織「民主中国陣線」に参加。現在、同団体のメンバー5000人以上が世界で活動している。



里村英一

幸福実現党政務調査会長。大手テレビ局宣伝部勤務を経て、幸福の科学の専務理事、局長などを歴任。月刊「ザ・リパティ」元編集長、ネット情報番組「ザ・ファクト」コメンテーター。



《交通案内》

- 東京メトロ 丸の内線・日比谷線・千代田線
「露ヶ関駅」C4・B2出口より徒歩約5分
- 都営地下鉄 三田線
「内幸町」A7出口より徒歩約3分
- 東京メトロ 千代田線・日比谷線
「日比谷駅」A14出口より徒歩約7分
- JR山手線
「新橋駅」日比谷口より徒歩約12分
- ◆駐車場はございません。日比谷公園内の日比谷駐車場をご利用ください。
・8:00~22:00 30分 250円
・22:00~翌朝8:00 30分 150円